

令和 5 年 1 2 月 1 1 日

洞爺湖町議会令和 5 年 1 2 月会議
教 育 長 行 政 報 告

番 号	件 名
-----	-----

1	寄附について
---	--------

2	小中一貫教育の導入に向けた教育講演会の開催について
---	---------------------------

3	部活動の在り方についての講演会開催について
---	-----------------------

4	各種事務事業の取組状況について
---	-----------------

1 寄附について

このたび、次の方より寄附の申出があり、御厚志に添うようありがたく受納いたしました。

(1) 物品の寄附

札幌市西区八軒4条東4丁目3-1-805

大坂 一彦 氏 碁盤 1台（虻田郷土資料館へ）

2 小中一貫教育の導入に向けた教育講演会の開催について

去る11月12日（日）及び26日（日）に教育委員会主催による、小中一貫教育の導入に向けた教育講演会を洞爺湖文化センターで開催しました。

12日の講演会の講師は、比布町教育委員会の教育指導主事兼生涯学習アドバイザー・森野憲仁氏を招き、「小中連携・9年間の学びを見通すための工夫～子どもが育つ・地域が活きる～」をテーマに講演いただき、小中一貫校の教育課程の特例で、中学校で習う学習の一部前倒しや5年生からの教科担任制の導入など、9年間を見据えたきめ細やかな学びができること、異学年交流の幅が広がるなどの特色を紹介いただきました。

26日の講演会の講師は、七飯町立大沼岳陽学校（義務教育学校）校長・大橋宏朗氏を招き、「9年間を通じた「義務教育学校」～大沼岳陽学校の事例から～」をテーマに講演いただき、職員室で小中の教員が一緒にいることによる教員文化の融合や小学校の卒業式の経験ができないことなど、大沼岳陽学校の特色と強みや弱みを個々具体的に紹介していただきました。

2回の講演会を通じて約100名の参加があり、参加者は講師の話に真剣に聴き入り、小中一貫教育への理解を深める機会となりました。

なお、2回の講演会の動画配信を12月31日（日）まで行っており、町ホームページの他、小中学校保護者や保育所、幼稚園保護者へも周知を行うとともに、併せて小中一貫教育の導入に関するアンケートも、インターネットで回答できるよう周知しております。

教育委員会としましては、今年末締め切りとしていますアンケート調査の集計結果なども参考として、今後、小中一貫教育の取

り組みを進めてまいります。

3 部活動の在り方についての講演会開催について

去る11月20日（月）、洞爺湖町役場防災研修ホールと11月29日（水）、洞爺総合センター集会室を会場に、洞爺湖町立中学校の今後の部活動の在り方について、講演会を開催いたしました。

この講演会は北海道教育庁の「令和5年度部活動の在り方検討支援アドバイザー派遣支援事業」を活用し、講師には公益財団法人北海道スポーツ協会クラブアドバイザーの熊耳雅美氏を招き、「部活動から新たな地域クラブ活動へ」をテーマに、今後の部活動の地域移行や先行事例について講演をいただき、2回の講演会を通じて約30名の参加がありました。

今後につきましては、保護者や教職員、地域などと意見交換を行い、協議会を立ち上げ、子どもたちが文化・スポーツを楽しめる持続可能な地域クラブ活動の運営に向け取り組んでいくこととしております。

4 各種事務事業の取組状況について

前会議から本会議までの各種事務事業の取組状況について、次のとおり報告いたします。

(1) とうや湖スポーツまつり 2023 の実施について

10月9日、あぶた体育館を会場に「とうや湖スポーツまつり2023」が4年ぶりに行われました。

スポーツまつりは、スポーツの日にちなんで、スポーツに親しみ、健康増進を図ろうと洞爺湖町体育協会など各関係団体が実行委員会を組織して行われました。

会場では、小学生から高齢者まで20名が参加し、なわとび大会やフロアカーリング、ストラックアウトのほか、誰もが気軽に楽しめるニュースポーツ「モルック」の体験会などを実施し、スポーツの日を楽しみました。

(2) 洞爺湖芸術館 秋特別展の開催について

洞爺湖芸術館におきまして、秋特別展「石井千晶銅版画展『風

の記憶』」を洞爺湖芸術館友の会との共催で開催しました。

実施にあたっては、友の会の方々が中心となって企画・準備を行い、10月19日のオープニングセレモニーには、ご来賓と関係者約20名に出席を賜り、祝辞をいただいた後、テープカットを行いました。展示された作品は約90点に及び、繊細な線や点などで自身の心象風景を表現した作品を、来館者は熱心に鑑賞されていました。

また、10月21日には芸術館が所蔵する文学作品について、詩人の稲尾教彦氏による朗読会も行いました。特別展は11月30日まで実施し、期間中は812名の方々にご来場をいただきました。

(3) 文化祭の開催について

「洞爺湖町総合文化祭」が、ステージ部門を10月15日に洞爺湖文化センターを会場とし、展示部門を10月28日～29日にあぶた体育館、また吹奏楽演奏会を11月11日に虻田ふれ合いセンターを会場に開催され、合わせて約850名の町民の方々にご覧いただきました。また、洞爺地区では「洞爺湖町民文化祭」が、展示部門を11月3日～5日、芸能部門を11月23日、いずれも洞爺総合センターを会場として開催され、合わせて約500名の町民の方々にご覧いただきました。

両文化祭は、洞爺湖町文化団体協議会並びにとうや文化協会の会員の皆様をはじめ、日頃、創作活動に励んでおられる方々の発表の場として盛会のうちに終了いたしました。

(4) 洞爺湖町教育行政審議会の開催について

去る11月17日(金)に洞爺湖町役場防災研修ホールにて、第1回洞爺湖町教育行政審議会を開催し、洞爺湖町立学校における特色ある学校づくりと、教育環境の向上に関する総合的な施策等について諮問を行いました。

会議では、会長に北海道教育大学函館校教授の鈴木淳氏、副会長には北翔大学教育文化部教育学科教授の上林宏文氏が選任され、今後1年程度を目途に調査審議し答申を頂くこととしております。

(敬称略)

番号	区 分	氏 名	摘 要
1	1 号委員 (学校教育)	西 村 雄 一	洞爺中学校
2		横 山 慎 二	虻田小学校
3		千 葉 佳 貴	虻田高等学校
4	2 号委員 (社会教育)	木 村 省 平	社会教育委員
5		泰 地 ひとみ	文化団体連絡協議会
6		京 谷 常 美	とうや文化協会
7		宍 戸 一 江	体育協会
8		佐々木 小代子	ウィメンズネットワーク
9		川 上 由起子	青少年健全育成連絡協議会
10	3 号委員 (保護者)	白 井 隆 子	虻田小学校 P T A
11		長谷川 尊 裕	虻田中学校 P T A
12		高 橋 洋 一	洞爺湖温泉小学校 P T A
13		折 原 亜 紀	とうや小学校 P T A
14		傳 尚 邦	洞爺中学校 P T A
15	4 号委員 (教育有識者)	鈴 木 淳	北海道教育大学函館校
16		上 林 宏 文	北翔大学教育文化学部
17	5 号委員 (公共的団体)	福 島 正 和	いぶり噴火湾漁業協同組合
18		秋 山 伸 吾	とうや湖農業協同組合
19		田 伏 ひとみ	洞爺湖町商工会
20		三 浦 和 則	洞爺湖温泉観光協会
21		宮 本 好	洞爺まちづくり観光協会
22		佐 藤 義 昭	洞爺湖町自治会連合会
23	6 号委員 (公募)	浅 利 弘 樹	
24		國 井 一 宏	
25		高 久 裕 子	

(5) 「ルート 37 の世界遺産 JOMON 講座」の開催について

国道 37 号線沿いにある世界遺産活用のための洞爺湖町と伊達市との連携した取り組みである「ルート 37 の世界遺産 JOMON 講座『縄文貝塚を考える』」を、アプタ・フレナイの会の主催（洞爺湖町教育委員会及び伊達市教育委員会共催）により、11月25日に入江・高砂貝塚館で開催しました。

講演には約 50 人が来場し、両市町の学芸員のほか、長年入江・高砂貝塚や北黄金貝塚で発掘調査を行った考古学者の大島直行氏による「世界遺産としての縄文貝塚」についての解説に耳を傾けていました。